

## 在外教育施設プレ派遣教師推薦書入力上の注意

- ・ 本推薦書は、選考に際しての基本資料とするので、取り扱いには十分注意すること。  
※ 「令和9年度在外教育施設プレ派遣教師募集要項」8（応募要項）の提出上の注意点を確認すること。
- ・ 本推薦書は、下表「被推薦者の現況」に応じて、下表に示された「推薦者」が作成すること。

| 被推薦者の現況            | 推 薦 者                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現在、講師等として勤務している場合  | 〔現在、日本国内の義務教育諸学校等で講師等として勤務している場合〕<br>・ 所属元の学校長<br>〔現在、民間教育機関において勤務し、かつ集団指導を担っている場合〕<br>・ 所属元の民間教育機関の長（〇〇塾△△校に勤務しているのであれば、△△校の長で可）<br>〔現在、在外教育施設で講師等（学校採用含む）として勤務している場合〕<br>・ 所属元の在外教育施設学校長                          |
| 現在、講師等として勤務していない場合 | 〔以前、日本国内の義務教育諸学校等で講師等として勤務していた場合〕<br>・ 直近に勤務していた学校の現在の学校長<br>〔以前、民間教育機関において勤務し、かつ集団指導を担っていた場合〕<br>・ 直近に勤務していた民間教育機関の長（〇〇塾△△校に勤務していたのであれば、△△校の長で可）<br>〔以前、在外教育施設で講師等（学校採用含む）として勤務していた場合〕<br>・ 直近に勤務していた在外教育施設の現在の学校長 |
| 講師等として勤務経験のない場合    | ・ 上記のいずれにも該当しない場合、可能であれば、小学校教諭普通免許状又は中学校教諭普通免許状を取得する際教育実習を行った学校の現在の学校長                                                                                                                                              |

欄① 「推薦理由」欄の右欄は、次の事項のいずれかを必ずプルダウンリストから選択こと。

ア 在外教育施設に十分貢献できる教師として、自信をもって推薦する。

イ 在外教育施設の教師として、普通程度である。

ウ 在外教育施設の教師として、やや心配な面がある。

（ウの場合、心配な点を下の特記事項欄等に記入すること。）

欄② 「教職に対する態度・能力」及び欄③「服務に対する態度」の「評価」には、児童・生徒に対する指導力等の各事項等についての評価（絶対評価）を、下記の表による10段階の点数からふさわしいものをプルダウンリストから選択すること。「特記事項」には、特記すべき事項その他特に参考となる事項を入力すること。

| 評価   | 点数   |
|------|------|
| 特に優秀 | 10～9 |
| 優秀   | 8～7  |
| 普通   | 6    |
| やや劣る | 5～4  |
| 劣る   | 3～1  |

欄④ 「研修に対する態度」欄には、学校内外で実施される研修への参加状況や熱意、校内での還元状況等について入力すること。

欄⑤ 「健康面」欄には、日常的な体調や体力等の健康状況や既往歴（過去の病気休暇取得状況を含む）について入力すること。また、在外教育施設での勤務を考慮し、日頃のメンタルヘルスの様子についても入力すること。

欄⑥ 「その他」欄は、性格上の長所・短所、日常の生活態度等について入力すること。

欄⑦ 推薦者の所属・連絡先等欄は、電話番号を必ず記載し、推薦者として推薦できる者である場合は□に✓を入力すること。また、選考時及び派遣後に、文部科学省担当者から、当該教師に関することについて、直接問い合わせることがあるため、御協力いただきたい。

- ・ 本推薦書以外に、海外子女教育関係団体等派遣志願者の資質を知る第三者からの推薦書（様式任意）を添付することができる。